

令和3年度 武蔵野市地域自立支援協議会 第2回全体会 コメントシート集計

※原文のまま掲載。個人名など個人情報がある場合は、一部加工しています。

＜地域生活支援拠点部会へ＞

- ・部会員の構成が多職種にわたっている。多様な意見が出る反面、本来の「地域生活支援拠点」の目的や趣旨から離れた意見が表出されることもあった。親会委員の方が適宜整理してくださったので、自分自身が意見を表出するポイントを整理する機会となったが、思考を整理して意見だしする難しさを感じた。
- ・武蔵野市の地域課題についての調査や話し合いなどのレポートは参考になった。武蔵野市ならではの良いところ「推し拠点」などの件も興味深かった。
- ・地域移行部会と連携できるといいと思いました。
- ・報告にもありましたが、入院や入所中の方や、家族と同居していて一人暮らしをしたことがない方などが、単身生活の体験をしたり、状態の安定を保つためにレスパイト的に利用できる短期入所の施設が、本当に少ないと感じています。地域生活支援拠点がそのような機能をもつことができるように期待しています。
- ・緊急時の対応や相談について難しさが出て来た場合の、解決に向かう体勢作りをもう少し知りたいと思いました。説明の動画か資料が、自立支援協議会のページなどで、期間限定でなく、通年を通して見られるといいのではないかなと思いました。

＜地域移行部会へ＞

- ・精神障害のある方との関わりが少なく、報告はとても参考になった。市内には入院できる精神科がないため、入院治療を必要とする市民の方は、他市の病院で生活を送ることになる。長期入院されている方がこれからの生活をどう考えられているのか、アンケートに取り組んだものを全体会などで共有いただきたいと思う。
- ・精神障害の方への地域移行、歴史的背景の勉強、当事者へのアンケートなど参考になることが多かった。精神障害の方に接する機会が少ないので、勉強になった。
- ・偏見や差別が原因で長期入院になっているような結果であれば、差別解消部会と連携してもいいかと思いました。
- ・調査結果からの取組について一緒に検討をしていきたいと思っております。
- ・アンケート調査は、今後の方向性に重要な物だと認識しています。資料とご説明にあった、岩本会長の講演会を聞いてみたいです。特に精神障害のある方の歴史的な背景についての共通理解は親会委員も知れるよう、共有する必要があるのではないかと感じます。

＜差別解消部会へ＞

- ・昨年度までくらす部会に所属し、関東バス武蔵野営業所のアンケートにも取り組んだ経験から、部会の取り組みには関心があつた。コロナ禍で対面交流が難しい中、手紙などのツールを活用してつながり続けようとする取り組みはぜひ継続していただきたい。課題に目を向けるだけでなく、強みを感じる意

見を抽出することも大切であると感じた。

- ・啓発ポスターに関しては、武蔵野らしさを大切にしたい作成に期待したい。
- ・バス会社へのお礼の手紙やアンケート内容などを検討している。公共交通機関への啓蒙を通じて一般市民も含め、誰もが住みやすい社会の実現に向けできることを考えていきたい。
- ・具体的な取組についてをうかがい、繋がりを大事にした活動だと思います。
- ・日常生活における様々な場所で差別のある状態は今まだ多く、それがなくなっていくには、人の対応もありますが、そもそもの社会システムが障害のある人も考えた作りになっていないことがあるとおもいます。そのことを踏まえると、まずはこの部分のバリアを減らしていく必要と、概念の啓発や周知、バリアフリーへの助成などがあって、その改善があった上で、人と人の間で起こるバリアを減らしていきましょう！としていくと、お互いにストレスが少なく進んでいけるのではないかなと思いました。そのような体勢を武蔵野市で作りたいですね。

＜コロナ対応部会へ＞

- ・ご本人・ご本人を支える家族・支援者それぞれが見通しの持てない毎日の中、地域での暮らしを続けている。それぞれが感じる困難さは多岐にわたると思われるが、今年度のテーマにもある「協働」を意識したつながりがもてるようなアンケートを企画していただきたい。
- ・コロナの状況の中でストレスに感じていることなどを実際に聞き取り共有でき参考になった。新しい様式の生活、コロナと共存していく生活について今後も考えていく必要性を感じた。
- ・コロナ禍で助け合えたこと、うまくいったことは日常でも活かせると思いました。
- ・コロナで、外出や他者と会う機会が制限される生活が続いていること、陽性や濃厚接触者になった場合、感染予防から福祉サービスが中止されてしまうことがあるなど、課題があると感じています。アンケートの実施により、実際の状況を知り、対応を考えていくことができるとよいと思います。
- ・コロナ禍で、今まで大変だったけど何とかしてきた事がギリギリだと言うことがあぶり出されました。部会名はコロナ対応となっていますが、災害時のことも含めた協議や部会名にシフトした方がいいのではないかと思います。

＜障害当事者部会へ＞

- ・オンラインによる開催は機器操作含めて難しさを感じる方もいたのではないかと？可能であれば、参加が難しくなっている知的障害の方が参加しやすい工夫などを検討いただきたいと思う。
- ・グループワークの中でも、当事者の方から直に会えないことでストレスや困りごとを話されていた。コロナ禍で抱える悩みなど当事者の声は大切だと思った。
- ・新メンバーさんが1名ですが、参加して良かったです。つながり、こころのつながり以外で新規メンバーを募集する方法の検討も必要かと思いました。もっと増えるといいですね。
- ・当事者部会のお知らせや報告などしていただき、ありがとうございました。当事者の方の声にある内容は日頃感じる内容もあり、今日は貴重な機会を作ってくださいありがとうございます。

＜地域自立支援協議会（親会）へ＞

- ・色々とりまとめなどありがとうございました。
- ・今日の全体会は非常に有意義でした。ようやく全体が見えてきた感じがしました。部会のリメイクも効果があったように思いました。
- ・皆さま大変な中、全体会お疲れ様でした。地域課題を上げ解決に繋げることの必要性和、課題にはなっていないことも実際にはあります。どちらも同じくらい大切に、当事者の意見を聞いて欲しいと思います。当事者部会の見学も引き続きお声がけください。